

(様式4号)

まちづくりアドバイザー派遣結果報告書

令和8年4月20日

茨城まちづくりセンター

運営委員長 殿

報告者（主催者） 日立市都市政策課長

まちづくりアドバイザー派遣制度運営要項第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

実施日時	令和8年4月16日（木）午前10時から正午まで
主催者の名称	日立市 都市政策課
講演会等の名称	令和8年度第1回日立駅周辺地区まちづくり会議
アドバイザー氏名	内山 征 氏
実施場所	会場名 ヒタチエ5F会議室
参加者数	15名
講演内容（具体的に詳しく記入して下さい。） 【演題】 令和8年度第1回日立駅周辺地区まちづくり会議 【内容】 ①これまでの振り返り 日立駅周辺区における「居心地が良くあるきたくなるまちなかづくり検討事業」の概念と令和7年度に実施した取組について参加者間で共通理解を図った。 ②今年度の進め方について 令和8年度は、「未来ビジョンの策定に向けた社会実験の実地」、「未来ビジョンの策定」、「エリアプラットフォームの構築」の3点を中心に、月1回程度のまちづくり会議で協議しながら進めていくこととした。 ③エリアプラットフォーム及び未来ビジョンの骨子について 令和7年度に作成した骨子の内容について、参加者から活発な意見が交わされた。  アドバイザーには、未来ビジョン等の骨子の説明や意見交換のコーディネーター、他市町村の事例を踏まえたアドバイスなど、有意義な会議となるよう補助いただいた。	

感想など

【主な意見】

①これまでの振り返り

2月14日に日立駅イベントホールで開催した雨のふらない公園のスピンアウト企画「イエローカフェ」が、今後「雨のふらない公園」を展開・定着させていく中で非常に重要なイベントとなった。

②今年度の進め方について

社会実験について

- ・令和7年度より予算が減少していることもあり、前年度に購入した物品を活用するなど、可能な限り費用を抑えてイベントを組み立てていけると良い。
- ・令和8年度は未来ビジョンの策定も並行して行っていく形となるので、ビジョン構成の資料収集と合わせて、策定するビジョンの内容を実現していく観点も重要である。
- ・コミュニティ組織の会長など、社会実験を行う場合はその地域のキーパーソンに話を通しておくべきだ。
- ・日立駅ロータリー西側交差点の空き店舗（旧・花日和）を活用したまちの拠点の運営、まへのうち児童公園と閉鎖したキャバレー・ナイルを複合的に活用したイベントの開催などを検討したい。

まちづくりメンバーについて

- ・まちづくりプレイヤーをエリアプラットフォームに引っ張ってくる1年にしたい。「肩書」や「役割」での参加ではなく、有意義に意欲をもって動いてくれる人を見つけられると良い。

③エリアプラットフォームの構築及び未来ビジョンの骨子について

対象エリアについて

- ・エリアを明確にしすぎると活動する地域が縛られるので、ある程度ゆるやかに広げておいたほうが良いのではないか。
- ・二十三夜尊から神社巡りがきるよう「鹿島神社」を、小学校との連携を考慮し「中小路小学校」を、滞在回遊性を考慮すると駅から市役所までの動線は重要なので「日立市役所」を、それぞれエリアに含めたい。

未来ビジョンについて

- ・イメージパース図にイラスト（学校、たき火、映画鑑賞、サウナ、未来のモビリティなど）を追加し、実現する可能性の期待を込めたい。

本会議の意見交換の結果を踏まえながら、「日本未来ビジョンの策定・エリアプラットフォームの構築」に向けて検討を進めていく。

なお、令和8年度第2回日立駅周辺地区まちづくり会議は5月開催予定である。

以上

令和8年度第1回日立駅周辺地区まちづくり会議の様子

